

カトリック河原町教会だより

2017年2月

2017年2月7日「高山右近列福式」を前に

右近の列福運動は、1965年「信徒発見100周年」に右近没後350年を記念して再開されました。それはちょうど、第二バチカン公会議閉幕の年でした。

そして今年2月7日、大阪市において高山右近の列福式が執り行われます。右近は、現代に生きるわたしたちに、自らの生き方を通してキリスト者としての模範を確かなものとして示してくれました。「へりくだった巡礼者」右近の信仰に倣って、わたしたちも勇気を持って歩みたいものです。

そして、現代に生きる者として周りの人々に信仰を証しすることができますように祈りたいものです。
(編集委員)



『右近と歩む祈りの旅』(日本カトリック中央協議会発行)から

「人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら、何の得があろうか」(マタイ16・26)。これは、人生の決断を迫られた若きザビエルに、ロヨラのイグナチオを通して宿されたみことばです。受洗から24年後、明石を領していた大名ユスト高山右近は、豊臣秀吉に棄教を迫られたとき、ザビエルに宿ったあの同じみことばをもって大名職も領地も名誉もすべて捨てて、キリストの「へりくだる生き方」(フィリピ2・6～8参照)を選んでいきます。「キリスト教を捨てよ、ということに関しては、たとえ全世界を与えるからと言われても、真の救いと引き換えにはできません。私の身柄や封禄や領地のことは、太閤様の思う通りになさってください。」(ルイス・フロイス著『日本史』第2部98節)これが、秀吉の使者に対する右近の返答でした。

『右近と歩む祈りの旅』p9から引用

どこをめざしているのか

私たちは自分の人生を旅しながら生きている「旅人」と同じです。私たちが旅をするとき、坂道を登るときは大変だったり、平地を歩くときは体力を蓄えたり、下り坂ではより速く進んだり、いろいろなときがあると思います。

そして生きていく上ではさまざまな屈曲もありますが、人生という旅の最後にたどり着く所は「温かい神様の懷」です。結局、私たちは天に帰るために努力し、さまざまな曲がり道は私たちの人生の一部の形として現れるでしょう。学業、受験、就職活動、会社でのストレス、結婚、引退、病気などなど、数多くの人生の出来事に対して、私たちは選択をしなければなりません。選択をしながら人生の時間を過ごしている私たちは、自分の進んでいる道が、はたして神様に向かうまっすぐな道であるのか、ということをきちんとみていかなければなりません。

そして、教会の中の聖人、聖女たちの生涯は、私たちが神様の懷にきちんと向かっているのかを教えてくれる「標識」だと言えます。そして、それをさまざまな聖人の生涯から悟ることができますが、特に2月7日に列福される日本の福者、ユスト高山右近の生涯をみていきたいと思います。



明治村旧聖堂のバラ窓

洛東ブロック担当 キム・テジョン神父

右近が生きていた16～17世紀の戦国時代後期の日本は、富と権力、そして名誉を得るために戦っていた時期でした。当時高山右近は大名であり、大きな影響力をもつ立場でした。それにも関わらず、彼は、何よりもイエス・キリストに向かう自分の信仰を選択して、すべての力を奪われ追放されました。さらに、教会と宣教師たちを守るための選択をしたために、自分の息子と妹の命まで危なかったのです。

自分自身の欲を満たすために、ただ「上」だけに向かって生きていたこの時代に、高山右近は目の前の利益ではなく、遠くても、難しくても、本当の幸せを得るために神様だけに向かって進みました。つまり、彼が選択した道は、他の大勢の人が選ばなかった、イエス様に従って「下へ」向かう道でした。

人生という旅の中で私たちはどんな道に向かって生きているのか、聖人と聖女たちが私たちに教えてくれたような「下へ」と向かうイエス様の道なのか、それとも自分の欲を満たすため、

「上」に向かう人生を志しているのか…。人生のさまざまな出来事の前で、易しい道、欲張りの道を選んで神様の道から離れていないかを、もう一度お祈りをしながら黙想してみましょう。

2016年クリスマスと平和のうちに



「いと高きところには栄光、神にあれ、
地には平和、御心に適う人にあれ」

昨年12月24日午後6時半から「クリスマス市民の集い」が、午後9時から「主の降誕夜半ミサ」、そして25日は「主の降誕日中ミサ」が行われました。聖堂には多くの人々が集いました。



大塚司教「主の降誕日中のミサ」説教要約

クリスマスおめでとうございます。主の御降誕を祝うクリスマス(＝キリストのミサ)を迎え、神の愛とめぐみの中に希望を見出してください。伝統的にクリスマスには、夜半と早朝、日中の3回のミサが行われてきました。日中のミサのテーマは「光」です。暗闇の中に輝く光は、「神の愛の始まり」を祝うことを意味しています。

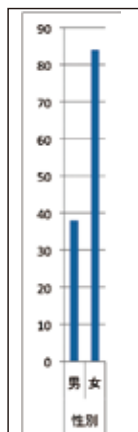
ヨハネ福音書の「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた」とは、言が人間の姿になり、わたしたちの間に「住まわれた」ということです。「住む」ということは、「親しい関わり」を表しています。キリストはご自分を差し出し、人となってこの世に住まわれました。それは、人間に神を解き明かし、独り子としての栄光をお見せになるため、そして人間を神に近づけるためでした。イエスの誕生から十字架と復活への生涯を通して、わたしたちは神の栄光を見ることができます。神の栄光は、心のうちから神を信じ捜す人に示されます。

「馬小屋」という何も無いところから、神の栄光はこの世に放たれました。幼子を通して、わたしたちが「目ざす地にたどり着くための道すじ」が示されたのです。沈黙のうちに、幼子イエスの語る声に耳を傾け、世界と周りの人々の平和を祈り求めましょう。(編集委員)

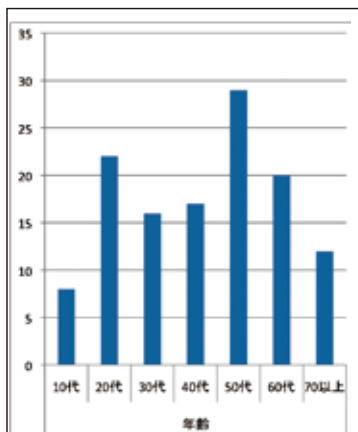


「クリスマス市民の集い」アンケートから

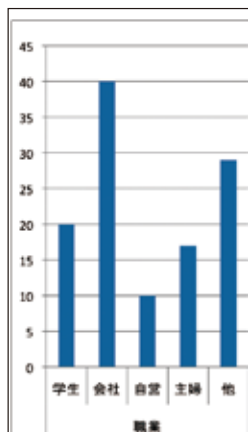
昨年の「クリスマス市民の集い」の参加者のうち、122名の方がアンケートに回答してくださいました。結果は以下のとおりです。回答に基づいてザビエル訪れ会では、キリスト教に関心をもつ方に入門講座のお誘いなどの対応をしています。



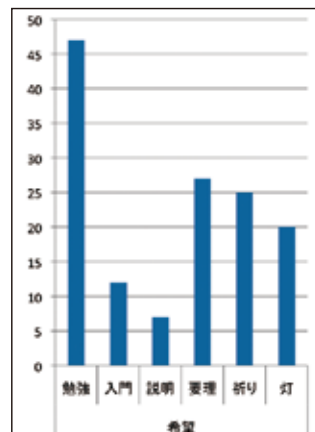
回答者数
男…38名
女…84名



回答者の年代
★一昨年は40代が最多だったが、今回は50代が最も多かった。



回答者の職業
★一昨年は主婦が最多だったが、今回は会社員が最も多かった。



キリスト教への関心
★今後キリスト教の勉強、入門講座など希望する人は全回答者の66.7%で、昨年の53%を上回っている。

ザビエル訪れ会の紹介

キリスト教に関心を示された回答者への訪問等は、1/7から開始しました。現在活動しているのはささやかに3名のみです。会ではご高齢の皆様への訪問も行っています。なかなか困難な奉仕ではありますが、この小さな宣教活動に参加してみませんか。関心のある方は教会事務室まで、詳細をお問い合わせください。(ザビエル訪れ会:李家隆美)

クリスマスチャリティーコンサートから

毎年恒例のクリスマスチャリティーコンサートを、昨年も12月18日14時半から開催しました。聖堂には約400名が来場。賛美の音楽に楽しいひと時を過ごすことができました。収益金は熊本地震復興支援と東日本大震災復興支援として、それぞれに202,500円を送金いたしました。皆様の温かいご協力に感謝します。(聖歌隊:杉本誠一郎)



2017年度教会役員の紹介



岩田啓子
(財務部留任)



岩間恵世
(広報部新任)



越知謙之助
(典礼部新任)



中島真理
(教育部新任)



松本一美
(施設管理部留任)

教会役員は5名で任期は2年です。月一度の役員会と評議会、ブロック会議などに出席して、教会運営に欠かさない事項の検討や実行等に時間をささげ、奉仕しています。今年度も信徒の皆様の協力をお願いいたします。(担当司祭)

河原町教会1月8日評議会議事録要約

司祭団から=今年から司教意向により「京都教区司教座聖堂献堂記念日」を11/23から12/3(聖フランシスコ・ザビエルの祝日)に変更とする。

降誕祭=①「クリスマスチャリティーコンサート」の参加者は過去最多。チケット売上額は405,000円で、東日本大震災支援と熊本地震支援として送金した。②「クリスマス市民の集い」も多数参加あり、アンケート回答数も多かった。

各部会報告=**(1) 典礼部**①12/18(日)14:00洛東ブロック合同典礼部会が開催された。②聖体拝領の案内及び注意事項のお知らせは、司祭拝領の鐘の後で行う。③新入部者2名あり、聖堂案内係を担当**(2) 財務部**=①12月部会報告:12月評議会報告。2017年度部長・副部長の選出。その他役割分担決定②2016年度決算・2017年度予算に関して、最終資料を作成した。(総会資料用)

(3) 教育部=**①土曜学校**:①12/10終業式とクリスマス会は総勢48名参加②1/14始業式 **②中高生会**:1/15始業式 **③信徒養成**:「主日の福音を読む集い」(毎日曜9:30~10:15) **④ブロック合同教育部会**:次回1/22・14:00予定 **⑤キリタン研究会**:2/11「日本二十六聖人記念ミサ」と巡礼を実施予定(京都キリタン研究会合同主催) **⑥ザビエル訪れ会**:「クリスマス市民の集い」アンケートのデータをまとめた。**(4) 施設管理部**=1/7門のクリスマスアーチ等の撤去作業完了**(5) 広報部**=ウェブサイト「教会の紹介」欄の内容充実案を提出し承認された。

行事予定=4ページ行事予定欄に記載

協議事項=**(1) 2017年度役員**:2017年度役員と5部会部長・副部長の承認と役割分担の決定**(2) 1/22の教会総会**:役割分担の確認**(3) 洛東ブロック会議**:①2017年度小教区役割=会計:山科教会、事務局:河原町教会が担当②ブロックとしての典礼への取り組みを協議した。③2017年度洛東ブロック行事予定の確認=四旬節黙想会(3/5)、典礼研修会(6/24)、ブロック平和旬間行事(7/30か8/6)、司教訪問(9/3・伏見教会)

その他=①復活祭については、例年通り行う。②新聖堂建立50周年記念行事について:記念行事(2107年1月号教会だより1頁参照)。教会設備の補修、整理を行う。特別献金を検討の予定。次回委員会1/21・10:30から開催③高山右近列福式の入場整理券引き渡し時に、バスの号車番号と利用有無を再確認する。

[門の聖句]

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます」 II コリント 4・18

◇ 2017年2月・3月の行事予定 ◇
(3月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜日	行 事 予 定
2	2	木	主の奉献
	5	日	評議会2月例会 10:30ミサ後
	7	火	ユスト高山右近列福式 12:00 (大阪城ホール)
	11	土	26 聖人殉教者顕彰ミサ 14:00 (西陣教会) 世界病者の日
	12	日	ユスト高山右近列福感謝ミサ 10:30
	26	日	故溝部脩名誉司教 1年祭追悼ミサ 14:00 (西陣教会)
3	1	水	灰の水曜日 四旬節第1日(大斎・小斎)
	5	日	洛東ブロック四旬節黙想会 (伏見教会) 洗礼志願式 10:30ミサ
	12	日	一場神父・モンロイ神父霊名のお祝い 評議会3月例会
	19	日	献堂50周年記念マタイ受難曲コンサート 15:00
	20	月	聖ヨセフ ガブリエル大塚乾隆助祭 司祭叙階式 10:30
	27	月	～29日(水) 教区小学生侍者合宿
	29	水	召命ミサ 11:00

河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00

10:30

*英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

新聖堂建立50周年記念「マタイ受難曲」演奏会のご案内

2017年3月19日(日) (14:30開場) 15:00開演

京都教区カテドラル カトリック河原町教会
入場料3,500円(全席自由) ◇小学生から入場できます

指揮・エヴァンゲリスト/ 畑 儀文 ソプラノ/ガハブカ奈美

アルト/福永圭子 テノール/松原友 イエス/篠部信宏 バス/小玉晃

◆合唱/大阪バッハ合唱団 ◆管弦楽/ザクセン・カンマー・オーケストラ

◆オルガン/パブロ・エスカンデ

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F集会室 / 3F応接室)

火曜日 10:00 (第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)

水曜日 10:00 一場 修 神父(1F)

19:00 (第1・祝休) 一場 修 神父(1F)

木曜日 15:00 (祝休) 一場 修 神父(1F・3F)

金曜日 15:00 シスター 庄子(3F)

19:15 村上 透磨 神父(1F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】 第1水曜日 19:00～20:00 一場神父

【山科教会】 毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】 毎火曜日 10:00ミサ後～11:30

一場神父

【桃山教会】 第1・2木曜日 19:30～20:30

一場神父

◇主日の福音を読む集い◇

(3F・301号室)

毎週日曜日 9:30～10:15

※ミサ前にその日の福音を読む集いです。
どなたでもお気軽にどうぞ。

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F集会室)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

2月2日(木) 14:00

3月2日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

ガブリエル 大塚乾隆助祭
司祭叙階式◆2017年3月20日(月・祝)
10:30

◆河原町教会聖堂において

京都南部地区信徒養成講座

「祈りを学ぶ」

講師:北村 善朗 神父

日時: 毎月1回木曜日 14:00～15:00

会場: 河原町教会1階集会室

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

2017年日程予定

1/19・2/2・3/2・4/6・5/11・6/1

6/29・9/28・10/19・11/16・12/14



今月の聖人暦から 聖パウロ三木(1563頃～1597)[2月6日]

キリシタン武将三木半太夫の息子。安土セミナリヨの第1期生。
22歳でイエズス会のイルマン(修道士)となる。秀吉の禁教令に
より大阪で布教活動をしているとき捕らえられ、京都市中引き
回しの後、長崎西坂で殉教。日本26聖人の一人として、遺骨は
日本26聖人記念館に納められている。1862年、教皇ピオ9世
によって26殉教者の一人として列聖された。(参考:女子パウロ会HP)



カトリック河原町教会だより 2017.2

編 集:カトリック河原町教会 広報部 担当司祭:一場 修
住 所:〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423
電 話:075-231-4785 ファックス:075-211-8021
URL: <http://CatholicKawaramachi.Kyoto>



教会公式ウェブサイト



教会公式フェイスブック